

凡 例

1. 本書は、昭和49年版を第1号として、今回が第33号の刊行である。
2. 資料は、原則として平成17年中または平成17年度の事実を収録掲載し、さらに、平成18年の最近の事実が得られた資料についてはこれを取り入れ掲載した。また、あわせて以前の資料も比較対象のため、掲載した。
3. 特別の表示あるいは注釈のない限り三郷市を範囲とした。
4. 表側の「年次」は暦年（1月から12月）、「年度」は会計年度（4月から3月）を示し、○年度・○月末あるいは○年○月○日とあるのは、その期日現在を示す。
5. 数字の単位未満は四捨五入してあるので合計と内容が一致しないところもある。
6. 符号の用法は次のとおりである。

「0」	単位未満のもの
「－」	該当数字がないもの
「…」	数字が得られないもの
「X」	数字が秘匿されているもの
「△」	減少